

2014年度 古鷹山ビオトープ 第1回自然観察会

- ・日時 2014年6月14日(土) 10:00~12:00
- ・場所 広島県江田島市古鷹山ビオトープ
- ・参加者 23名
- ・主催 NPO日本ビオトープ協会中四国支部
- ・実施要領
 1. 開催の挨拶
 2. 観察会の実施要領について
(観察会の注意事項、安全行動について、講師の紹介他)
 3. 昆虫採集と水生生物の採集
 4. 採集してきたものについて調べと説明
 5. 参加者の感想と次回の案内
- ・講師 梶岡幹生(環境) 神垣健司(昆虫他) 清田康博(メダカ他)



クロスジギンヤンマ



参加者の集合写真



神垣先生「ミヤジマトンボの話」「古鷹山ビオトープの生き物の話」

ミヤジマトンボについて書いた配布資料



ミヤジマトンボ

広島県宮島（厳島）だけに生息しており、本州、四国、九州はもちろん、瀬戸内海の他の島々からも確認されていない。中国大陸の基亜種は、広東省と福建省および香港から報告されている。

同属のシオカラトンボの体を細くしたようなトンボ。

海水が入り込むようなヒトモトススキの生育する海辺の湿地に生息している。他の島での発見が期待されるが、宮島以外では確認されていない。

広島県は1995年に「広島県野生生物の種の保護に関する条例」を制定し、本亜種は特定野生生物種に指定され、採集が禁止された。また、生息地の環境整備（海砂やゴミの除去）も関係者の協力の下、実施されている。

トンボ生息地をイノシシ荒らす（2014/5/28:「中国新聞」掲載）

国内で宮島（廿日市市）だけにいる国絶滅危惧種ミヤジマトンボの生息地が動物に荒らされていることが27日、分かった。足跡などからイノシシが餌を探しに侵入したとみられる。研究者や環境省、広島県などで行う保護管理連絡協議会は来月中旬、生息地に監視カメラを設置して原因を特定し、対策を急ぐ。



清田先生「メダカと水辺の生き物の話」



採集した生物の調査・

切串小：宮川校長、好村前校長





コオイムシ



タイコウチ



ヤゴ



ツチガエル



古鷹山ビオトープで観察した昆虫などは下記などでした

2014年6月14日

クロスジギンヤンマ
ギンヤンマ
シオカラトンボ
ショウジョウトンボ
キイトトンボ
クロイトトンボ
アサヒナカワトンボ
ミズイロオナガシジミ
アカシジミ
スジグロシロチョウ
ナミアゲハ
コムスジ
イチモンジチョウ
テングチョウ
ダイミョウセセリ
ハンミョウ
ナミテントウ
タイコウチ
コオイムシ



クロスジギンヤンマ



ミズイロオオガシジミ

メダカ
ニホンアカガエル
トノサマガエル
ヌマガエル
ヌマエビ

